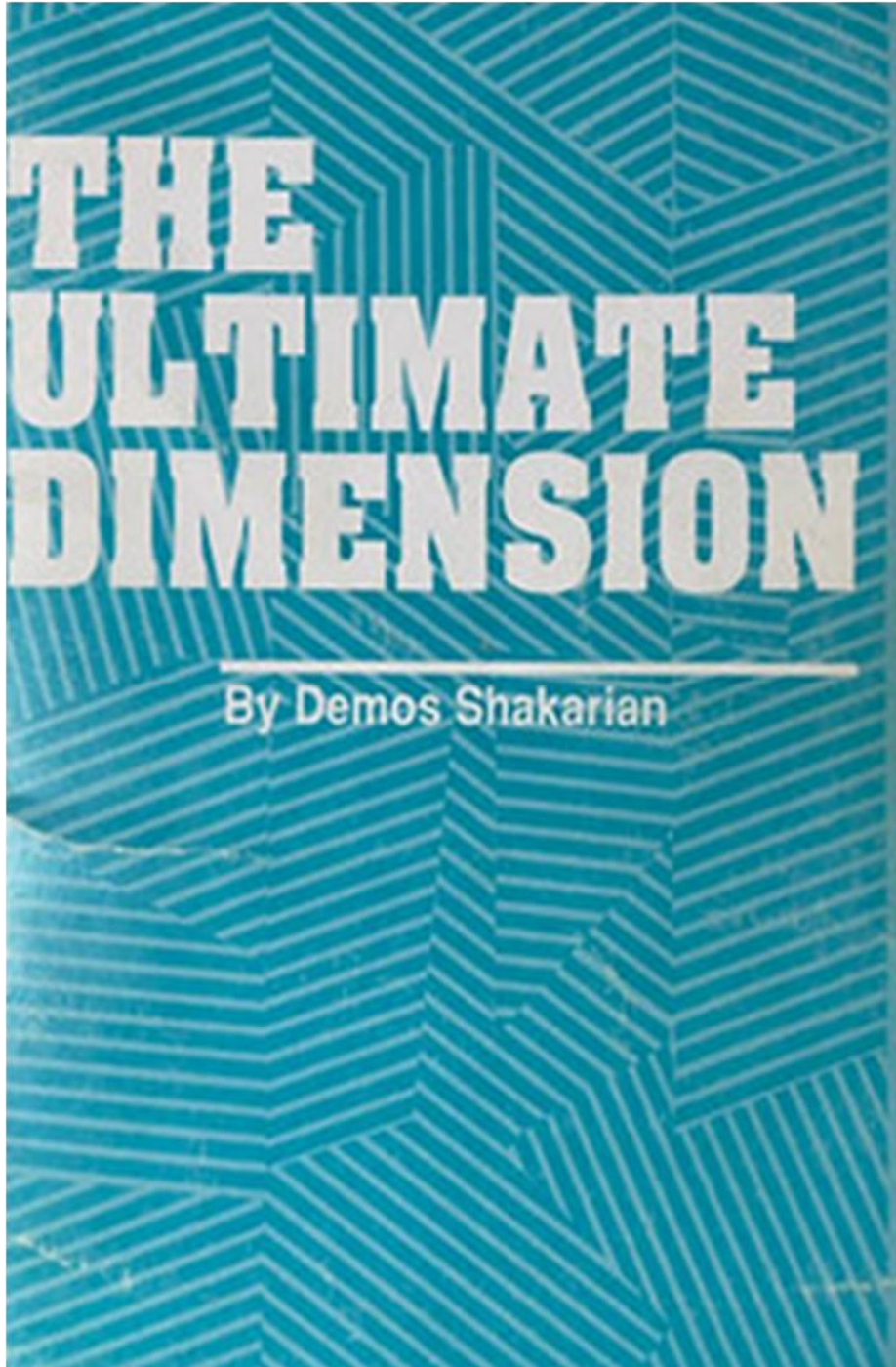


THE ULTIMATE DIMENSION (究極の次元)



目 次

はじめに デモス・シャカリアン	3
第1章 私たちの過去：最高の出発点	4
第2章 イエスと私たちの次元的な関係	6
第3章 究極の次元	8
• 犠牲と苦しみ：語られなかった言葉	11
• 究極の次元への突入	12
• 統合され、キリストと一つになりましょう！	16
• 終わりの時の御力の爆発！	17
• 我が家の老馬ジャック	19

はじめに デモス・シャカリアン

私の親愛なるパートナー

最近、私は皆さんの経済状況、この奉仕の強化されたビジョン、そして人生の中で再び神の栄光を見ることができる特別な人々が「この終わりの時」の世代に必要であることについて、特別なメッセージを皆さんと共有しました！

この小冊子では、イエスが再び来られる前のこの終わりの時代に、神の油注がれた民がどのような存在になるのか、彼らはどのように準備され、どのように素晴らしい力を発揮して神の御心を現すために歩むのか、私が信じていることを分かち合い、お話しします。

私は、信じられないほどの啓示、全く新しい次元、非常に強力で驚くべき次元、私がそれを「究極の次元」と呼ぶことを皆さんと共有します。

たった一人の人が神の究極の次元に到達したとき、その人は普通のキリスト教徒の兵士全体よりも多くのことができるようになるでしょう。

時間は短く、神はご自身を救い主として受け入れる最後のチャンスを世界に与えるために、ご自身の究極の次元を信頼できる数人の献身的で情熱的な人々を探しておられます。

神には御計画があり、達成すべき世界的な働きがあり、その御計画を達成するために神の民に力を与えようとしておられます。

私がこの小冊子を書いているのは、皆さんに私たちの将来のビジョンを与え、神の栄光のためにいつか私たちがどのようなようになるのかを霊的に垣間見ることができるようにするためです！

これらのページがあなたにインスピレーションを与え、神の提供する究極の次元を求める動機となることを心から祈ります。

第1章

私たちの過去：最良の出発点

大きな進歩を遂げるためには、時には原点に戻る必要があります。

私がこの小冊子で皆さんと共有しようとしている内容は、もし私たちが過去の真実を目撃できなかったら、信じるのが難しいでしょう。

ここで少しの間、神の恐るべき力が多くのクリスチャンの生活の中にはっきりと現れた過去に皆さんを連れ戻したいと思います。イエスと特別な親密さを持っていたと思われる人々の知識、知恵、預言、幻、そして力に、キリスト教徒さえも人々が驚いたような時代にです。1891年5月25日、祖父の義理の弟マガルディッチ・ムシェガンは祖母に、その日から1年後に息子が生まれるだろうと告げました。

そしてちょうど1年後の1892年5月24日、祖母は息子（私の父）を出産し、約束の子であるアイザックと名付けました。

神は聖書の中で、神の子らが預言をすることができると明らかにしておられたにもかかわらず、わずか100年前に完全に成就したその預言は、それを知っていたほぼすべての人を驚かせました。

「『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。』」（使徒2：17）

アイザックが8歳で、家族がまだアルメニアのカラ・カラという小さな山村に住んでいたとき、100人のロシア系キリスト教徒が屋根付きワゴンで山を越えてやってくるという知らせが届きました。

カラ・カラでは、訪れたキリスト教徒のために祝宴を開くのが習慣でした。そこで祖父は、すぐに牛の群れのところへ行き、ごちそうのために屠殺する雄牛を探しましたが、傷のない太った雄牛を見つけることができませんでした。

レビ記20章によると、彼は傷のあるものは何も差し出してはいけないことを知っていたにもかかわらず、片目のつぶれた雄牛を屠殺し、頭を隠しました。

食事の準備ができると、全員がテーブルに座りましたが、礼を言う前に、ロシアの族長は手を挙げてすべてを止め、納屋に歩いて行き、小麦の山の下の袋の中に傷のある頭を見つけました。

祖父は動揺して驚き、「どうやって知ったのですか？」と尋ねました。

「神が私に言われました。」と族長は答え、それから祖父に重要な質問をしました。「神は昔のように今日も人々に語らないと思いますか？」

その疑問とあの出来事が祖父の変化の始まりでした！

カラ・カラにエフィム・クルブニケンという少年預言者が住んでいました。ある時、彼は七日七晩祈り続けたところ、神は彼に具体的な図表と美しい手書きのビジョンを与えました。

エフィムは読み書きもできませんでしたが、ビジョンは非常に明確だったので、すべての文字とチャートの詳細を紙に書き写すことができました。

そのビジョンは、差し迫った言葉では言い表せない悲劇、逃げるようにという警告、そして安全のために行くべき特定の場所のビジョンでした。

信じる人もいれば嘲笑する人もいたが、悲劇は訪れました。

そのビジョンは、信じた人にも信じなかった人にも実現しました。1914 年、トルコ人の侵攻により、逃げなかった者は全員殺されるか、砂漠に逃亡しました。

神がこの詳細なビジョンを与えられてから、100 年も経っていません。

さて、質問させてください。「神は 100 年も経たないうちに人々に語りかけるのをやめられたのでしょうか？」

エフィムの預言は終わったのですか？ 彼の死は天上の幻の終わりを告げるものだったのですか？

もちろん違います。

それについての聖書的な証拠はありませんが、確かに、私たちの滅びゆく世界における強い霊的ニーズは、これらの天からの力を与える贈り物の継続を正当化します。

しかし、神がこれらの賜物を終わらせなかったのであれば、なぜこれほど多くのクリスチャンが神の御声を聞くことができず、預言もできず、幻を見ることもできないのでしょうか。

第2章

イエスと私たちとの次元的な関係

イエスがベツレヘムで生まれる前、神の御声は少数の特別な人々だけが聞いていました。これらの選ばれた少数の人たちは、旧約聖書の族長、アブラハム、ヤコブ、イサク、ヨセフなどの人々、そしてイザヤやエゼキエルのような預言者でした。これらの族長や預言者は神の言葉を聞き、神が彼らに語られたことに耳を傾けるすべての人に伝えました。

しかし、イエスが生まれたとき、私たちは別の次元に入りました。イエスの声は何千人もの人々に聞かれ、男性も女性もイエスを通して神の御声を聞き、神の姿を見ました。

「イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか。」(ヨハネ 14:9)

イエスは私たちに霊的な関係の新たな次元を与えてくださいました。イエスは、これまでこれほど緊密な天上の関係を持つことを期待できなかった何千人もの人々に、神の御言葉、神の御声、ご自身の知識、そして神の触れ合いをもたらしました。

イエスとのこのより近い次元では、強力な奇跡が落ち葉や急流のように流れました。イエスが行かれるところにはどこにでも彼らがいました。

しかし、イエスが肉の次元で私たちとともにおられ、面と向かって人々に教え、信じられないほどの奇跡を行っていたとき、多くの人々は依然としてイエスを拒絶し、イエスが誰であるかを信じませんでした。何千人もの人々が彼のメッセージと奇跡を無視しました。

ご存知のとおり、イエスは自発的に肉体の次元、つまり定義可能な制限のある次元を歩まれました。イエスに会うためには、イエスがそこにおられたとき、イエスがおられた場所にいないければなりません。もしあなたがイエスを直接見ることができるほど近づいたとしても、群衆の多さのせいで、イエスは丘の斜面に遠く離れた人物だったかもしれません。制限が存在しました。

イエスが天に昇られたとき、私たちはさらに別の関係、新しい次元に入りました。イエスは、人の内に住み、絶えず共にいてくださる「慰め主を遣わす」と約束されました。その慰め主は、時間や空間に制限されず、常に寄り添うパートナーとなるでしょう。

私たちは慰め主が聖霊であることを知っています。彼はイエスが去られたときに来られ、今も私たちと共におられます。彼を求め、彼の臨在を望むすべての人の中に住んでいます。

なんという強力な次元でしょう！

この新しい次元では、各人が個人的に神の語りかけを聞くことができ、毎日毎分聖霊が自分の中に宿るようになります。

少数の人だけが神の話を聞くことができた族長や預言者の第一次元と、イエスを見て神の話

を聞くことができるほど近づいたのは少数の人だけだった第二次元からは、何と大きな変化でしょう。

最初の 2 つの次元は当時強力で意味のあるものでしたが、あらゆる人の中に宿る聖霊の新しい次元は、霊的な爆発的な進歩において最初の 2 つをはるかに上回りました。

愛する皆さん、これから読まれるのは、あなたの人生を変える霊的な啓示です。さらに強化された霊的な次元が私たちを待っています！

第3章 究極の次元

究極の次元には限界がなく、これまでにほとんどの人が経験したことの無い霊的な力の次元です。それは、この終わりの日にすべてのクリスチャンが利用できる次元ですが、それを経験できるのは神の民のほんの一部だけです。

これまで、多くのクリスチャンは神について何かを知ろうとし、時々神の声を聞くことに満足し、聖霊が内住されることが私たちの神と享受できる最も緊密な関係であると心から信じてきました。

しかし、この終わりの時代において、神は神ご自身が提供する究極のもの以外には満足しない特別な人々を求めておられます。

私たちがどのようにしてその次元にまだ達していないのかを理解するために、神が提供しなければならないものの貧弱なコピーで世界がどれほどうまくやっていたかを共有したいと思います。

認めるのは恐ろしいことですが、世界は、唯一の真の神である私たちの神に対して私たちがしてきた以上に、彼らの神々に対して多くのことをしてきました。

証拠を考えてみましょう！

世の男性にとって、ウィジェット（ビジネスマンを興奮させる製品やサービス；PC のアプリ等）は神かもしれません。彼は自分のウィジェットを信じており、昼も夜も、週 7 日、毎週、一度に何か月も、必要に応じて何年もの間、精力的にウィジェットの開発に取り組んでいます。彼はウィジェットを隅々まで熟知しています。彼は会う人全員に自分のウィジェットについて伝えます。彼は、それがいかに優れているか、何ができるか、そしてなぜ自分専用のウィジェットを持たなければならないのかを説明します。

ビジネスマンは自分のウィジェットに深く関わっているため、全世界が彼のウィジェットを知って受け入れてもらえるよう、あらゆる努力を惜しまず、あらゆる手段を尽くし、あらゆる形でお金を使い果たします。

そして彼の努力から、世俗的な「奇跡」がしばしば生み出されます。ほぼゼロの状態からスタートして、富を生み出し、仕事を提供し、時には国際的に有名になることもあります。

ウィジェットの神様による世界の成功は、多くの場合、驚異的としか言いようがありません。

H.R. ペローは 1962 年に 1000 ドル (150,000 円) で自分の会社 E.D.S. を設立しました。

1984 年に、彼はそれを 25 億ドルで (3,750 億円) ゼネラルモーターズに売却しました。

今、それは爆発的な進歩です！

しかし、これらの驚くべき努力と成功は、特別にユニークなものではありません。私たちは H.R. ペローのような人物とその功績について頻繁に読みます。

さて、お尋ねしたいのですが、これらのビジネスマンは、私たちが仕えている神よりも大き

な市場やより望ましい道具を持っているのでしょうか？

イエスを必要とする人よりも、H. ロス ペローのウィジェットを必要とする人の方が多いのでしょうか？

イエスに匹敵する人工の道具はあるのでしょうか？

私たちが世界よりも優れたものを提供でき、何十億もの人々が私たちのイエスについて聞くのを待っているマーケットプレイスがあるのなら、なぜ世界は私たちが唯一の真の神を紹介するよりも彼らの神を紹介する方がうまくいくのでしょうか？

答えは簡単で、私たちの目の前にあります。

このウィジェットを信じれば、世界はすべてを危険にさらすことになります。

自分のウィジェットのためにすべてを喜んで危険にさらす、意欲的で特別な人々が常に少数存在します。自分の情熱に犠牲を払い、人生を捧げた少数の人々には、世界的に大きな成功を収める特別な突破力が生まれます。

悲しいことに、今日のクリスチャンには、多くのビジネスマンが製品のために抱いているのと同じ熱意や犠牲をいとわない態度が見られません。

しかし、世界が成し遂げたこと、そして過去の神の偉人たちが成し遂げたことでさえ、神があなたと私のために用意しておられることよりも偉大なことはありません。神の究極の次元の一部となるのです。

その究極の次元への出発点は決断です。

あなたの人生にもっと神を取り入れたいと思いませんか？

そうしたいのなら、喜んで犠牲を払い、代償を払わなければなりません。

究極の次元を理解するには、神の計画の中に何か特別なものを見ることから始める必要があります。

人間の墮落の後、神は、まず数人の特別な人を通して語り、次に何千人もの人々にイエスの声を聞かせ、肉体を持ったイエスとしてイエスを見させ、そして聖霊を絶え間ない伴侶とすることによって、神が誰であるかを人間が知ることができるようにする段階的なプロセスで、人間の再生を始められました。

今、究極の次元を通して、私たちは神との完全な一体性、イエスとの完全な一体性を目指して努力するよう求められています。

洪水以来、神は人間の関係が神と一つになるまで、新たな次元を得るたびに人間を神に近づけてこられました。

この究極の次元に到達すると、

神の本質は私たちの本質となり、

神の言葉は私たちの言葉となり、

神の知識は私たちの知識となり、

神の愛は私たちの愛となり、

神の信仰は私たちの信仰となるでしょう。

それが起こるとき、私たちは
神の偉大な御業を行い、
神の奇跡を行い、
神の御心を知り、
自信と権威を持って神の御言葉を語り、
疑いなく生きるという超自然的な力を持つことになるでしょう。
私たちの救い主キリストの真の力強い証人となることです。

私たちが完全に神と一つになるとき、世界は私たちが起こす奇跡に驚くでしょう。なぜなら、
私たちは嵐を静める言葉を語り、山を動かす信仰を持つからです。

そして、
私たちは再び具体的な言葉で預言し、
神の知識を与えられ、
将来の詳細なビジョンを見て、神が私たちに直接語るのを聞くでしょう。

なぜなら、私たちはもはや神とのパートナーではなく、神と一つになるからです。

これまで、イエスと私たちの関係は、雇用主と従業員の関係に似ていることがよくありました。どちらも同じ基本的な環境と一般的な目的を共有していますが、同じ情熱、同じ心、同じ熱意を共有していないことがよくあります。従業員は所有権を持っていないため、大義に対して所有者と同じ取り組みを行うことはほとんどありません。

彼らが会社のために犠牲を払うことはめったにありません。

しかし、そのような関係を、あなたの右手が心臓や脳とどのような関係を持っているのかと比較してください。あなたの右手は、あなたの心が受け入れられないことは何もしませんし、あなたの脳が指示しないことは何もできません。あなたの手はあなたと一つであり、完全な一体性を持っています。

それが私が究極次元でキリストと一体化していることについて話していることです。

神は聖書の中で、このような関係が可能であることを示してくださいました。

アダムはイブについて「彼女は私の骨の骨であり、私の肉の肉です。」と言いました。

彼らの関係は互いに一体でした。

しかし、その関係はどのようにして発展したのでしょうか？ アダムは脇腹を負傷しました。彼の傷から、新しい命が生まれました。その新しい命はイブであり、その新しい命とアダムの関係は骨の髄までの関係でした。

アダムがそのような関係を築くために脇腹に傷を負ったのと同じように、あなたと私が「骨と骨のような」関係、つまり私たちが持っていた他の愛を離れることを可能にする一体性を築くために、イエスも傷を負われました。そしてイエスだけに固く結ばれてください。

エペソ人への手紙 5 章 30 節で、パウロは、エバがアダムから生まれたように、私たちがキリストから生まれたことを明らかにしています。

「私たちはキリストのからだの部分だからです。」（エペソ 5：30）

エペソ人への手紙 2:5-6 にはこう書かれています。

「罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—

キリスト・イエスにあって、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。」(エペソ 2：5～6)

そのとき、私たちは神ご自身によってイエスと結ばれ、一つにされるのです。

その一体性は私たちに対する神の御計画の一部なのです！

究極の次元とは、私たちがイエスと同じように生き、御父の御心を知り、神が定められた目的を達成するためにすべてを犠牲にすることをいとわないように、イエスと一つになることです。

アダムとイブの問題は、彼らの一対一の関係ではなく、神との関係にありました。

しかし、確かに、もし神が人間に「私の骨のようなもの」を持つ能力を与えられたなら、お互いに関係を築くことができれば、私たちが神と同じような関係を築くことができるように神は備えてくださいました。聖書は、私たちとイエスとの関係を結婚、つまり父と母を離れて互いに固く結ばれる関係であると説明しています。

犠牲と苦しみ---語られなかった言葉

もし私たちが神とひとつになることを望み、神の知識、神の信仰、神の御力を得たいと願うのであれば、自分の持っているもの、自分の存在のすべてを神にゆだね、神が犠牲にされたように、私たちも喜んで犠牲になる覚悟をしなければなりません。

ほとんどのクリスチャンは神の賜物を手に入れたと思っていることに同意するでしょうが、神の苦しみを経験に入ることを選択する人はほとんどいません。

神はご自身の独り子を犠牲にされたことを忘れないでください。

もし私たちが神と一つになろうとするなら、私たちが所有しているものや所有したいと思っているものは、それを犠牲にしたくないほど貴重なものであってはなりません。クリスチャンとしての歩みの中で、私たちは祈り、与えること、賛美はあっても、苦しみや犠牲についてはほとんど語られていません。

私たちは殉教者たちの歴史を振り返るだけで、彼らが喜んで与えた赤い血の跡を見て、私たちが与えたものがいかにわずかであるかを理解することができます。

殉教者たちは不当に投獄され、火あぶりにされ、油で煮られることが多かったのです。

私たちの中で、イエスのためにこれほど苦しまなければならなかった人は誰でしょうか？そして、私たちの中で誰がそうするでしょうか？

イエスは犠牲を払ったのですから、弟子は決して主を超えることはできません。イエスは御父から与えられた働きを、ご自身の自己否定を通して成し遂げられました。

あまりにも多くの場合、単純な真実は、世界は私たちの尊いイエスのためよりも、その道具のために多くの苦しみと犠牲を払う準備ができているということです。

パウロは言いました、

「私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。」(Ⅱテモテ 4:6)
パウロは毎日キリストのために死に直面しました。彼は石で打たれ、ルステラで死んだもの
と思って放置されました。彼はピリピで殴られました。彼は救い主のために斬首されること
をいとわなかったのです。パウロが多くのことを成し遂げたのは、イエスのために苦しみ、
すべてを犠牲にする用意ができていたからです。

この終わりの時に特別な方法で備えるために、私たちもまた、主のために苦しみ、すべてを
犠牲にする準備ができていなければなりません。

究極の次元はイエスとの一体性、神との完全な一体性です。

私たちがその次元を歩むとき、私たちは神の御意を知り、神の信仰を持ち、神の愛を表現し、
神の性質を反映し、神の御力で行動します！

その究極の次元を達成するには、将来のいつかではなく、今、彼にすべてを委ね、神の御計
画のために苦しみ、犠牲を払うという私たちの意志が必要です。

究極の次元への突入

究極の次元は、それを望む人なら誰でも手に入れることができますが、それは私たちの献身、
犠牲、そして従う意欲によってのみ実現されます。

神はヨシュアにエリコを連れて行くよう求められたとき、具体的な指示を与えられました。
ヨシュアとその部下たちは7日間市内を歩き回り、7日目にラッパを7本吹き鳴らさなけれ
ばなりませんでした。神は彼らに、もし彼らがこの指示に従えば、エリコの城壁は崩れ落ち
るだろうと約束されました。

さて、7日間街を歩き回るのは不可能なことではなく、ラッパを吹くのは簡単なことです。
しかし、なぜ神がこれらのことを成し遂げたいと望んだのかを理解するのは非常に困難です。
歴史は人間に、敵を倒す唯一の合理的な方法は、壁を歩き回ったりラッパを吹いたりするこ
とではなく、矢、槍、その他の戦争の武器を使うことであると教えてきました。

まさに同じ原則が、神とともに究極の次元を目指す私たちの歩みにも当てはまります。

それが私たちが本当に望んでいることであれば、キリストに完全に身を委ねることは難しい
ことではありませんが、私たちの人生が迫害や問題もなく順調に流れているときに、なぜ神
が私たちの歩みに犠牲と苦痛を要求する状況を許すのか、理解するのは難しいことがよくあ
ります。

順風満帆は、少し熱心な人にはよくありますが、完全に熱心な人にはめったにありません。
海岸にいる私たちは海の嵐に気づいていますが、嵐が私たちを翻弄することはありません。
船の中では、私たちは嵐と一体です。クリスチャンが船に乗り込み、イエスと完全に一つに
なるとき、私たちは順風満帆なときも、嵐の中でもイエスと一つにならなければなりません。

なぜ嵐で船が揺れる危険を冒さなければならないのでしょうか？

神殿の寶銭台をひっくり返し、船を揺さぶる大胆さを持っておられるイエスと一つになりた

いと願うなら、私たちも進んで同じようにしなければなりません。

イエスは、

「わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わした方のみところを行うためです。」(ヨハネ 6:38)と言われました。

それは、どんな犠牲を払ってでも、自分の意志ではなく神の御意を求めて実行するという私たちの挑戦です。イエスは御自身を全く空しくされたので、殴打、いばらの冠、柱でのむち打ち、そして十字架の死を喜んで経験されました。

それらの苦痛な経験は神の御望みではありませんでした。しかし、神はそれが神の時に対する父の御心であることを知っておられ、理解されていました。

イエスは、追従者たちも御父との特別な関係を享受できるように、彼らに模範を定められました。

苦しみは霊的な包（パッケージ）の一部です。

「それは、私たちにキリストの苦難があふれているように、慰めもまたキリストによってあふれているからです。」(Ⅱコリント 1:5)

私たちのクリスチャン人生の多くの中で、私たちのほとんどが見逃してきたもの、それは私たちの奥深くにある、ほとんどの人が知り、理解することができなかった本質です。聖書では、

「いったい、人の心のことは、その人のうちにある霊のほかには、だれが知っているでしょう。同じように、神のみところのことは、神の御霊のほかにはだれも知りません。」(Ⅰコリント 2:11)それを「霊の人」(Ⅰコリント 2:11)と呼んでいます。偉大な「わたしは」すべての人間の奥深くに座して、ただ生き返るのを待っているのです。

究極の次元では、その霊の人が生き返り、私たちはイエスと一つになり、私たちの内なる証しがイエスの超自然的な力と輝きの外面的な現れとなります。

イエスが御父とどれほど親しかったかを見てください。

「そこで、イエスは彼らに答えて言われた。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行うのです。』」(ヨハネ 5:19)

イエスはご自身の欲望、ご自身の御計画、御自身の必要をまったく空にされたので、イエスの唯一の目標は、ご自分を遣わされた神の御心を達成することでした。イエスは父の近くに住んでおられたので、父の御意にないことは何もできませんでした。

イエスは例を挙げられました。

神はかつて私たちの間に住むために来られました。

神は私たちの内に住むために聖霊を与えてくださいました。

今、神は私たちが神と一つになることを望んでおられます。

私が話をする多くのビジネスマンは、自分の人生が給料日から給料日へと回っていると考えています。

そうではなく、私たちの人生は常に永遠の縁にあることを認識する必要があります。

神は永遠の時から時を経て私たちのところに来られました。それは私たちが神を知り、いつかすぐにこの時から永遠の時へ移ることができるようにするためです。

給料やその他の消耗品といった日々の状況を乗り越えて、あなたが尽くす情熱によってイエスとの関係をますます深めてくださるよう主に助けを求めてください。

御父の御心は私たちの人生において絶対的なものなののでしょうか？

イエスは、「わたしが父におり、父がわたしにおられることを、あなたは信じないのですか。わたしがあなたがたに言うことばは、わたしが自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。」(ヨハネ 14:10)と言われました。

御子は御父の御心に完全に委ねられたので、御子のうちに宿り、神と一体である御子を通して語られました。

情熱とビジョン

世俗的な男性たち、そして彼らと彼らのウィジェットとの関係について、彼らが世俗的な奇跡のように見えることを引き起こす原因は何でしょうか？

H. ロス ペローのような人が、1000 ドルの初期投資をして 25 億ドルの会社を築き上げ、また別の人が一生働き続けて貯蓄口座に到達することができないのはなぜでしょうか？

素晴らしいことをしているように見える人とそうでない人の違いは何でしょうか？

違いは彼らの情熱とビジョンにあります。

ウィジェットが彼らの情熱であり、世界が彼らのビジョンであるとき、彼らを止めるものは何也没有ありません。彼らは情熱を持ってどんな壁も打ち破り、どんな山にも登り、サメがはびこる海でも泳ぎます。

周囲が「諦めろ、夢は終わった」と言ったとしても、彼らはそのビジョンを持って進み続けるでしょう。

情熱とビジョンそれは、ほとんど利用されていないクリスチャンと大いに利用されているクリスチャンの違いでもあります。

「幻がなければ、民はほしいままにふるまう。しかし律法を守る者は幸いである。」(箴言 29:18)

情熱とビジョンが違いを生みます。私たちは何よりもイエスと一つになりたいと願わなければなりません。

私たちが障壁を打ち破り、キリストと一つになることを妨げているのは、キリストに対する情熱の欠如です。

しかし、どうやって情熱を得ることができるのでしょうか？

答えは簡単で、エリコに連れて行くのと同じですが、簡単すぎるように見えるだけで難しいのです。答えはこれにほかなりません。私たちはこの世の何よりもイエスと一つになりたいと願わなければなりません。

それがイエスの願いであり目的でした。

「イエスは言われた。『あなたがたが人の子を上げてしまうと、その時、あなたがたは、わたしが何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。』」（ヨハネ 6:38）

イエスは、彼らの二つの意志が一つとして機能するように、神と一つになることを望んでおられました。

「私は自分からは何もしますが、父が私に教えてくれたように、これらのことを話します。」（ヨハネ 8:28）

イエスは御自身を全く空にされたので、御自分からは何事もせず、御父から来ることだけを行なわれました。

人間は、人生で最も望むものに対して常に情熱を持っています。望んでいないものに情熱を注ぐ男性を見たことがありますか？

あなたは、あなたのすべてを尽くす情熱が「**イエスと一体になる**」というまさにその瞬間に、究極の次元を手に入れることができます。

イエスはご自身の性質を喜ばせることに情熱を持っておられませんでした。御父の御心を行うことに情熱を持っておられました。それがイエスのすべてを費やされる目的であり、願望でした。イエスは、御父を喜ばせるという、ひたむきな情熱によって動機づけられ、駆り立てられました。

舞台上でリンカーンを演じたレイモンド・マッセイについては、暗殺されるまで自分のリンカーンの似姿に満足しなかったと言われています。

私たちの中に、十字架につけられるまでイエス・キリストの証しに満足しない人がどれだけいるのでしょうか？

世界は奇跡を起こすために非常に巧妙に私たちの言葉を搾取してきました。

彼らは、素晴らしいことをするには熱意と情熱が必要であることを知っています。しかし、熱意とは「内なる神」を意味し、内なる神とは基督教の概念です。

しかし、世界が自らの目的のために熱意と情熱をいかにうまく利用しているか見てください。世の男性が自分のウィジェットについて「これは私の人生だ！」と言うのを何度聞いたことでしょうか。

どこに行っても、世界中の男性が自社の製品に対する熱意と情熱に夢中になっているのを目にします。

なぜ世界にはこれほど多くの人が熱意と情熱を持っているのでしょうか？

なぜなら、彼らにとってウィジェットは夢であり、最大の願望であり、希望であり、自分の欲望のために全力を尽くせば夢は叶うと強く信じているからです。

イエスへの熱意と情熱に取り憑かれ、イエスを自分たちの夢、自分たちの夢とする終末期のクリスチャンの選ばれたグループが現れると私は信じています。

彼らの最大の願い、日々の希望です！

イエスのビジョンは彼らのビジョンになるでしょう！ イエスの御意が彼らの意志になるのです！

これらの献身的な霊的戦士たちは、イエスと一つになるため、世界を征服するでしょう。

終末のクリスチャンは、熱意が高すぎたり、「内なる神」を感じすぎてもいけません。

私たちの内に住まわれる神に対する熱意と情熱は、燃える茂みのようなもので、激しく燃えますが、私たちの物質を消費することはありません。

あまりにも神に頼られすぎて燃え尽きてしまうことはありません。

私たちの神との歩みが非常に近くなり、モーセのように私たちの顔が超自然的な光で輝く日が来ると私は信じています。

「アロンとすべてのイスラエル人はモーセを見た。なんと彼の顔のはだが光を放つではないか。それで彼らは恐れて、彼に近づけなかった。」(出エジプト記 34:30)

イエスと一つになるという願望、情熱、すべてを消費する意欲を神があなたに与えてくださるよう、今すぐ祈り始めてください。

統合され、キリストと一つになりましょう！

全員がキリストと一つである男女のグループが集まるとき、彼らは同じ神の御霊から命を得ているので、その中に団結が生まれるでしょう。

彼らは同じ目標、同じ熱意、同じ愛、そして神の栄光のために犠牲を払う同じ意欲を持つでしょう。

分裂が彼らの集会の一部であってはなりません。なぜなら、分裂がある場合、グループ内にはキリストと一つではない人がいるはずだからです。

イエスは、「それは、あなたがわたしに下さったみことばを、わたしが彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを確かに知り、また、あなたがわたしを遣わされたことを信じました。」(ヨハネ 17:8)と言われました。

私たちがイエスの御言葉を話しているなら、私たちは目的、力、そして情熱において団結するでしょう。

ご存知のとおり、イエスのおられる究極の次元では、男性も女性もキリストの大義のために個人的な感情や個人的な野心を進んで犠牲にします。

神が私たちに与えてくださった最善のものを私たちが手に入れたのであれば、私たちもアブラハムのように、自分が所有する最も大切なものを喜んで祭壇に置き、私たちが大切にしているすべてのものを神の御意どおりにさせなければなりません。

私たちがイエスと一つになりたいなら、イエスの王冠と栄光を分かち合いたいなら、喜んでイエスの苦しみを分かち合う用意がなければなりません。私たちは自分自身が神と共に十字架につけられ、自分の持っているすべてを捧げ、死に至るまで捧げなければなりません。

苦しみの冠を受け入れることができなければ、栄光の冠も受け取ることはできません。

「彼らは大声で言った。『ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、

賛美を受けるにふさわしい方です。』(黙示録 5:12)

かつていばらの冠をかぶせられたイエスは、今は王として統治されており、その頭には力、富、知恵、強さ、名誉、栄光、そして祝福がたくさんあります。

私たちが究極の次元への突破口を経験したいのであれば、死に至るまで自分のすべてを捧げて、神とともに十字架につけられることを許さなければなりません。

この終わりの時代において、神は神と一体となる特別な民、世から憎まれ、友人や家族から迫害されても神から離れることのできない民を求めています。

「『あなたのために、私たちは一日中、死に定められている。私たちは、ほふられる羊とみなされた。』と書いてあるとおりです。

しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から私たちを引き離すことはできません。」(ローマ人への手紙 8:36～39)

私たちの多くは、この世での仕事を神との仕事から切り離してしまうことがよくあります。私は他の人からたくさんのことを学びました。偉大な宣教師となった靴屋のキャリアはかつてこう言いました、「私の仕事は福音を宣べ伝えることです。私は靴を修繕して生活費を稼いでいるのです。」

ストラディバリウスは、あたかも「永遠のために作られた」かのようにバイオリンを作りました。

私たちがここで行う働きは一時的なものです。神のために行う働きは永遠の働きです。ストラディバリウスがバイオリンのために抱いたものと同じ永遠のビジョンと神の御業を行う情熱、そしてイエスが御父の御心を実行されなければならなかったのと同じように、私たちは祈る必要があります。

終わりの時の御力の爆発！

「究極の次元」を歩む男性と女性は、私たちが現在科学、技術、さらには人類の財政において見ている爆発的な進歩と並行して、爆発的な霊的な進歩を明らかにするでしょう。

科学はもはや小さな一歩では進みません。

「ブレイクスルー(貫徹、突破)」という言葉が、世界中の人々を驚かせるほど傑出したものを意味していた時代がありました。今日、科学的な進歩はあまりにも一般的なものであるため、ほとんど注目されることさえありません。科学の世界におけるブレイクスルーの強さと大きさを表現できる言葉はありません。

おそらく「量子のブレイクスルー」は、私たちが現在経験している知識の飛躍の大きさを説明するのに最適な用語でしょう。

最近、科学者たちは、数千トンの重さの列車を浮上させる方法を発見し、量子の進歩を遂げました。これらの空中列車（リニアトレイン）は、ほとんど抵抗なく時速数百マイルで走行でき、通常の鉄道列車が使用する燃料のほんの一部しか使用せず、大量の貨物と乗客を輸送できます。

この成果の大きさを理解するには、これまでに見たことのない最大の列車が滑走路の端で離陸と飛行の準備をしているところを想像してください。

これらの新しいリニア列車は実際に飛行します。線路上空はほんの数インチです！

テクノロジーは私たちの限られた想像力をはるかに超えています。最近、私は発明家の殿堂を訪れ、電磁波を通じて組織内のがんを検出する装置の発明者であるレイモンド・ダルメシアンと話をしました。この発見の奇跡は、その波には危険な X 線が含まれておらず、人間のシステムに損傷を与えないことです。

レイモンドは、ニューヨークで開催された FGBMFI に参加したことがあり、発明を開発する際に必要な画期的な進歩をしばしば神に求めたと語りました。

皆さん、分かりますか？ 彼は、この発明に神の御意が成されるように、自分自身を無にして究極の次元を歩いていました。彼は自分を無にして、神が答えを与えてくださると信頼しました。それは興奮しませんか！

発明家の殿堂への同じ訪問中に、私は医療用心臓ペースメーカーの発明者であるウィルソン・グレートバッチにも会いました。彼は私の周りに腕を回し、聖霊のバプテスマを受けていること、そして自分の発明で助けが必要なときは祈ったことを話しました。

この二人は神の聖霊に委ねられ、未解決の問題に対する自分自身の解決策を放棄したため、神は彼らに画期的な発見を与えられました。

今日、人々は田舎に行き、土を掘り、それを分離し、料理する如く、チャンバーとバルブを形成し、それから男性の胸を開いて、彼の病んでいる心臓をその精密なプラスチック片と取り替えます。

その後、彼らは男性の肉体の心臓を修復し、それを置き換えます。外科におけるこのような飛躍的な進歩は、10 年前には存在しませんでした。

終末期の財政も以前とは異なります。

ほんの 10 年前までは、億万長者になることは注目に値する偉業でした。現在、アメリカでは毎週 100 人以上の新たな億万長者が誕生しています。新しい価値の尺度は、億万長者の 1000 倍です。

ビジネスマンは前例のない額のお金を稼いでいます。ナビスコの販売を企画した男は、その 1 回の取引だけで 1 億ドルを稼いだのです。

霊的な観点からこれらの発展を見ると、私たちが終わりの時代にいることを警告するのは、画期的な出来事そのものではありません。それは、画期的な出来事の強度と規模です。

例えば、聖書は、知識が増え、地震が増え、飢餓が増え、終わりの時が来ると教えています。

過去 20 年間に、前 10 世紀よりも大きな地震が多かったということをご存知ですか？

もちろん、私たちには常に地震がありました。しかし、この時間を他と区別するのは、現代の強度と大きさです。

たった 1 発の水爆は、数百発の原子爆弾分の破壊能力があります。

神は私たちに何かを告げておられます。その時は今です！ 準備をしましょう！

彼は私たちのスピリチュアルな歩みにおいて量子的ブレイクスルーの爆発を解き放とうとしています！

私たちが自然界で巨大な飛躍を見てきたのと同じように、究極の次元でも爆発的な霊的躍進が見られるでしょう。この終わりの時に、一般の兵士の軍隊全体よりも一人の人間が神のためにもっと多くのことをするでしょう！

イエスは、この地球上でこれまでに見たことのない強度と規模の奇跡を伴って歩まれました。しかし、この力強い人、そして神の子は私たちにこう言われました、「あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。」(ヨハネ 17:18)

神は私たちを遣わされただけでなく、私たちが神の御業、さらにそれ以上の業を行うようにとおっしゃいました。

その発言の意味を理解していますか？ 私たちは、約 2000 年前にイエスが示された以上の力レベルで機能することになっています。

イエスが究極次元での機能について話されたこれらの男性と女性は、非常に具体的な言葉で預言するでしょう。そして彼らの預言は実現します。

これらの男性と女性は神の言葉を直接聞くことになるでしょう。

これらの男性と女性は再び病人のために祈り、病人は回復します。

洪水直前のノアの時代に嵐の雲が集まってきたように、終わりのときの兆候は明らかにここにあります。

今こそ究極の次元の時です。

今こそ、神が、終末の証人の規模と強度が量子的画期的なりバイバルを生み出すまで、神と一つになるために苦しみと犠牲をいとわない特別な選ばれた人々のグループを立ち上げる時です。世界は想像すらできないでしょう！

神は終末時の特別な人々、つまり霊的生活において量子的進歩を遂げる意欲と準備ができている人々を求め、備えておられます。

神の民にとって大きな霊的進歩の時が来ており、私たちが神の臨在をよりよく理解する時、偉大なビジョンを見、巨大な奇跡の力を持ち、初代教会の殉教者のように証しする時が来ています。

我が家の老馬ジャック

時々、私たちの生活の小さな変化が大きな違いを生むことがあります。ほとんどの人にとっては小さな変化でさえも困難です。

何年もの間、私たちの老馬ジャックは毎週日曜日の朝、私たち家族を教会に連れて行ってくれました。

しかし、ついに 1925 年のある日、お父さんは年老いたジャックを牧草地に放し、代わりにピカピカの新しい黒いスチュードベーカー（自動車）に換えました。

変化の時が来ました。

今日、私たちがジャックじいさんとロサンゼルス的高速道路に沿って教会に行こうとしているところを想像できますか？

新しい時代には新しい方法が求められることがよくあります。

今日、私たちが自然界で目にする量子の飛躍にもかかわらず、キリストのからだはしばしばオールド・ジャックとともに私たちの世代に影響を与えようとしています。世界は 21 世紀に向かって急速に発展しつつありますが、その一方で多くの宗派や個人のキリスト教徒は、世界と失われた魂が通り過ぎていくのを眺めながら、ゆっくりとジャック爺さんを追いかけています。

率直に言ってみましょう。

多くの教会や宗派は、電話、自動車、飛行機を受け入れて使用するのが遅れました。今日、多くの人はまだ、今世紀の主要な時間節約装置の 1 つであるコンピューターを理解していないか、活用していません。

しかし、究極の次元を歩むには、現代の男性と女性に変化し、滅びゆく世界にメッセージを伝えるために利用できるすべてのテクノロジーと科学を積極的に利用する必要があります。衛星、テレビ、新聞や雑誌。

しかし、どうやってそれを行うのでしょうか？

グレートバッチ氏やダマディアン氏と同じように自分を空にすることで、有名な発明家たちは私たちの救い主イエス・キリストがなさったように、人間に利益をもたらす発明であれ、あるいは利益をもたらす可能性のあるビジネスであれ、あらゆる状況において私たちの生活に神の御意のみを求めました。

神の王国をさらに促進するために十分の一の献金と捧げ物をささげてください。

イエスが再臨される前にこの世界に影響を与えたいのであれば、私たちはあらゆるリソースを情熱と熱意を持って使わなければなりません。

長年にわたり、私は自分自身の人生において、癒しの分野で最も大きな変化の一つを大きく変える必要がありました。

最初の 24 年間、私たちのフェローシップは治癒を信じていましたが、今日のように治癒や奇跡に重点を置くことはありませんでした。しかし、1961 年にエルサレムで開催された世界ペンテコステ会議に出席していたとき、私は個人的な画期的な方法で神の奇跡の治癒力を体験し、それがフェローシップの方向性に大きな変化をもたらしました。

ある会合の前に私たちが玄関に集まっていると、一人の女性が私に近づいてきました。彼女は足の不自由な男性を引き連れていた。彼は哀れな姿をしていた！彼の体は足に対して直

角でした。彼は体が床と平行になるほどかがみ、両手で杖を握りながら歩いていました。男性の顔すら見られませんでした。

女性は私に向き直って、「シャカリアンさん、この男性はあなたの助けが必要です。」と言いました。彼女は、彼が市外の路地に住んでいるのを見つけたと説明しました。彼は、イエスがそこで人々を癒していると聞いたので、講堂に入るのを手伝ってくれるように彼女に頼んだのです。席がすべて埋まっていることを知ると、誰かが私に話そうと提案しました。

私はその小さな男に心を痛み、バッジを彼に渡すことにしました。私がかがんでそれを彼に押し付けたとき、紛れもない声が私にこう言うのが聞こえました。「デモス、あなたは今すぐ彼の治癒を祈ってください。」

私はびっくりしました。

ここ？

今？

前庭は世界中からの強力なペンテコステ派の指導者でいっぱいですが？

「あなた、デモスはここにいます。」

私はその男性に「イエスがあなたを癒してくださいと信じますか？」と言いました。

「だから来たのです」というのが彼の答えでした。

それで、私はひざまずいたまま、男性の耳元でこう言いました。「今すぐあなたのために祈らせていただけませんか？」その答えに対して、老人は杖に頭を乗せて目を閉じました。

「親愛なるイエス様、私たちは、あなたがこのまさにユダヤの丘の上で足の不自由な人を喜んで飛び跳ねさせてくれたことに感謝します。主よ、今日、また足の悪い人があなたの選ばれた者の一人としてあなたのところに來ます。イエスの御名において、痛みを我慢しても、関節を外して真っすぐに立つことができるように命令します！」瞬間、何かパチンと鳴る音が聞こえました。

最初、私はこのか弱い小さな男性が何かを壊したのではないかと心配しました。しかし、彼から出たうめき声は苦痛ではなく、解放のためのものでした。彼はゆっくりと背筋を伸ばし、勝ち誇ったように私の顔を見つめました。私たちの周りからは賞賛の合唱が起きました。私は彼の杖を手に取りました。「ただ、神の御力によって！」私は言いました。そして案の定、最初は少し足を引きずりながら、背筋を伸ばし、肩を伸ばして、その男性は歩き始めました。

それが今日、神が私たちに与えてくださった御力です。

あの出来事は、その瞬間に私がデモス・シャカリアンを無にして、御父の御心に従い、御声を聞き、行動したからこそ起こりました。

それがイエスが地上を歩いておられたときになさったことであり、それが今日私たちに望んでおられることなのです。

神は私たちが靈的に不自由になって、街の外に身を寄せて暮らすことを望んでおられません。イエスと一つになることによって、私たちは杖を捨て、神が私たちに御意されたとおりにイ

エスの名において偉大な奇跡を行うことができます。

変化に対してオープンでありましょう。イエスをあなたの人生にしてください。神があなたにすべてを捧げられるように、あなたが持っているすべてを喜んで神に捧げてください。

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。

あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。」(ヨハネ 15:7～9)

この聖書に含まれる本当の意味と霊的な啓示が、あなたが読んでいるあなたの霊の人の中で爆発することを祈ります。それがこの本の全体的なメッセージです。イエスの内に留まり、イエスの言葉をあなたの内に留めてください。それから病人の癒しを願いましょう。そうすれば彼らは癒されます。そして経済的な祝福を祈りましょう。そうすればあなたは祝福されます。それから家族の復興を求めれば、あなたの家族は回復されます。

キリストは明らかに御自身の祝福された人生の秘密を、私たちに与えてくださいました。イエスはヨハネ 15 章 7 節～9 節で究極の次元の秘密を私たちに教えてくださりました。

その聖句をしっかりと記憶してください。

それをあなたの人生、情熱、日常生活の一部にしましょう。そして、究極の次元はすぐにあるあなたの一部になるでしょう。

もし私たちが、私たちの間にあるどんな違いも捨て去り、イエスとひとつになり、イエス御自身が言われたときと同じ関係を御父とこの世に持つために、たったひとつのことを求めて、今すぐ私たち自身を完全にイエスにゆだねるなら、このフェローシップは究極の次元を歩むことができると私は信じています。

イエスは、

「それは、あなたがわたしに下さったみことばを、わたしが彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを確かに知り、また、あなたがわたしを遣わされたことを信じました。」(ヨハネ 17:8)

「あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。」(ヨハネ 17:18)と言われました。

神の御子ご自身が受けたのと同じ言葉、同じ使命を受けた私たちは、どのような人間となるべきでしょうか。

私たちはイエスと一体となり、熱意と情熱と、神の霊的賜物を他の人々に現す信仰と、世界に出て行って神の賜物を用い、どんな山にも登り、どんな小川も泳ぎ、どんな砂漠も越え、どんな壁も壊して、私たちのイエスのことを皆に伝えようとする熱意に満たされなければなりません！

私はあなたが究極の次元で神に選ばれた僕の一人になりたいと思っていますと信じています。それで今、御霊の中であなたの進歩のために祈りに同調しましょう。

「天の御父よ、私たちとともに歩むために御子イエス・キリストを地上に送ってくださったことに感謝します。私たちの内に住むために聖霊を送ってくださったことに感謝します。そして今、主よ、私たちがあなたと一つになれるようにしてくださったことに感謝します。あなたの力の中を歩き、あなたの知恵で活動し、あなたの奇跡を実行して、私たちがあなたの栄光のための強力な終末の証人になれるようにしてください！ 主よ、私は非常に具体的にお願ひします、あなたがこれらの貴重なパートナーたちにあなたを望むように力を与えてくださいますように。何よりも、彼らがあなたの栄光のために喜んで苦しみ、犠牲を払うため、そしてこの終わりの世代であなたに仕えるためです。主よ、私たちはあなたを愛し、あなたを賛美し、あなたのなさることすべてにすべての栄光をあなたに捧げます。この人生を通して。アーメン。」